

生命いのちの言葉

平成二十六年十二月

“祈り”は真剣に
生きようとするとところに
初めて生れる

岡本健治

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉
十二月

どうでもよい生き方の人や、生きることを
放棄した人に祈りは無縁である。
祈りは限りある人生を精一杯に生き抜くこ
うとする、真剣な生きざまのあかしである。

岡本健治（おかもとけんじ）

一九二四～一九九九年。京都府出身。

元熱田神宮宮司。

一九九五～一九九八年、神社本庁総長を務める。

出典『朝霧 岡本健治遺稿集』熱田神宮宮庁

寒風かんぷうの中山ちゅうざん茶花ちやかの花咲くこの季節ご参拝の皆さまに「幸多かれ」と祈ります

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



伊勢神宮に
参拝しましょう